

第 6 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	アフリカ			

[問題 1]

右の地図中の●にあてはまる農作物を、次から選べ。

[コーヒー 小麦 カカオ 茶]

[解答欄]

カカオ

[解説]



[プランテーション]

特定の輸出用の商品作物を
大量に生産する大農園

[カカオ]

コートジボワール ガーナ

ギニア湾

ナイジェリア

ケニア
茶

植民地時代のアフリカでは、ヨーロッパ人によってプランテーションという大農園が開かれた。

プランテーションでは、特定の輸出用の商品作物を大量に生産しヨーロッパに輸出した。

プランテーションで栽培された農作物としては、カカオ、コーヒー、綿花、茶などがある。

ギニア湾沿岸のガーナやコートジボワールでは、チョコレートの原料になるカカオのプランテーション農業が行われた。

カカオの生産(2010年):1位 コートジボワール(29.4%)、2位 インドネシア(19.1%)、3位 ガーナ(14.9%)、
4位 ナイジェリア(10.1%)

(統計出典)「世界国勢図会 2012/2013」P232

ケニアでは茶のプランテーションが開かれ、現在も重要な輸出品になっている。

[問題 2]

次の各問いに答えよ。

- (1) ガーナやコートジボワールのプランテーションで栽培されている作物のうち、1つを書け。
- (2) (1)のような作物以外に、アフリカ諸国の輸出品になっているものにはどのようなものがあるか。
(具体的な品名でもまとめた表現でもよい)
- (3) アフリカの多くの国は(1)のような作物や(2)のような輸出品など、少ない種類の輸出品に頼って収入を得ている。このような経済を何というか。
- (4) (3)のような経済の問題点を書け。

[解答欄]

(1) カカオ	(2) 鉱産資源(石油、金、銅)	(3) モノカルチャー経済
(4) 天候や景気により価格が大きく変動するため、輸出品の種類が少ないと毎年安定した収入を得ることができない。		

[解説]

モノカルチャー経済

天候や景気により価格が大きく変動するため、輸出品の種類が少ないと毎年安定した収入を得ることができない。

アフリカは鉱産資源にめぐまれており、植民地時代から金、ダイヤモンド、銅などの採掘が行われてきた。独立後は、ナイジェリアなどで石油が開発された。これらの資源は、重要な輸出品になっている。近年では、希少金属(レアメタル)も注目されている。

アフリカ諸国の多くは、プランテーション農業による特定の商品作物(カカオなど)や、特定の鉱産資源(金、銅、ダイヤモンド、石油など)を輸出して経済が成り立っている。

このような経済をモノカルチャー経済という。モノカルチャー経済は、天候や景気により価格が大きく変動するため、輸出品の種類が少ないと毎年安定した収入を得ることができないという問題をかかえている。

[問題 3]

次の資料を見て、各問いに答えよ。

[2010年]

ナイジェリア 865.7 億ドル	石油 70.3%		石油製品 11.3	その他 18.4
コートジボワール 102.8 億ドル	カカオ 24.2%	石油製品 13.0	石油 10.6	その他 52.2
野菜果実 切り花				
ケニア 51.7 億ドル	茶 22.5%	8.7	7.7	その他 61.1
ザンビア 72.0 億ドル	銅 75.2%		その他 24.8	

- (1) 資料のように、輸出品が特定の農産物や鉱産資源にかたよる傾向が強い経済のことを何経済というか。
 (2) 資料の国々の輸出額は年度によって安定しないことがある。その理由を輸出品目の種類に注目して簡単に説明せよ。

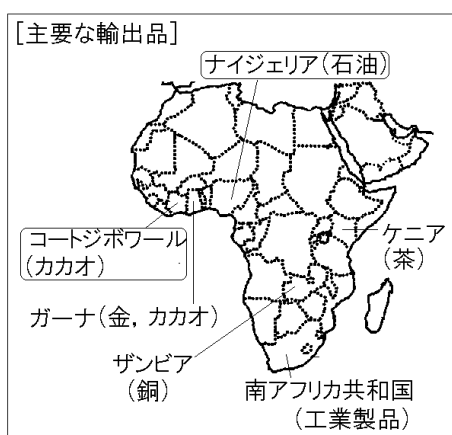
[解答欄]

(1) モノカルチャー経済

(2) おもな輸出品が鉱産資源や農産物であるため、気候の変化や価格変動の影響を受けやすいから。

[解説]

アフリカ諸国の多くは工業化が進んでおらず、下のグラフに示すように、特定の農産物や鉱産資源の輸出にたよるモノカルチャー経済である。たとえば、コートジボワールはカカオ、ナイジェリアは石油、ケニアは茶の輸出に頼っている。南アフリカ共和国だけは、工業化が進んでいるため、鉄鋼、機械類、自動車などの工業製品の輸出も多い。



コートジボワール 102.8 億ドル	カカオ 24.2%	石油製品 13.0	石油 10.6	その他 52.2
ガーナ 52.3 億ドル	金 64.4%		カカオ 16.2	その他 19.6
ナイジェリア 865.7 億ドル	石油 70.3%		石油製品 11.3	その他 18.4
ケニア 51.7 億ドル	茶 22.5%	8.7	7.7	その他 61.1
ザンビア 72.0 億ドル	銅 75.2%		その他 24.8	

南アフリカ共和国 714.8 億ドル	機械類 自動車 石炭 鉄鉱石					白金族 13.1%	鉄鋼 10.8	9.2	9.2	7.7	7.6	その他 42.4
-----------------------	----------------	--	--	--	--	--------------	------------	-----	-----	-----	-----	-------------

[2010年]

(統計修正)「世界国勢図会 2012/2013」P337

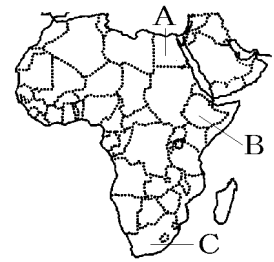
[問題 4]

アフリカのある国では 20 世紀末まで人種隔離政策が行われてきた。

- (1) ①この国の国名を答えよ。②また、その位置を右の地図の A～C から選べ。
 (2) この人種隔離政策を何とよぶか。カタカナで答えよ。

[解答欄]

(1)①南アフリカ共和国	②C	(2) アパルトヘイト
--------------	----	-------------



[問題 5]

次の①～⑥にあてはまる国を地図中から 1 つずつ選べ。

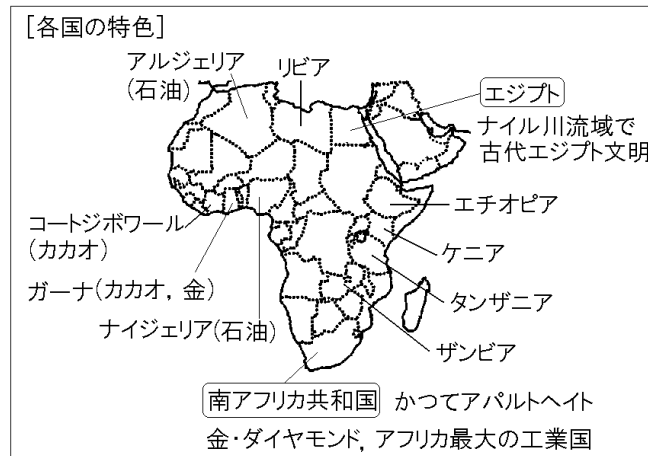
- ① 中央アフリカの産油国で、ヤムいもの生産量が世界有数である。
 ② 首都はナイロビで、茶の生産量が世界有数である。
 ③ 最大の都市はケープタウンである。金やダイヤモンドの産出量が多い。
 ④ 首都はカイロで、なつめやしの生産量が世界有数である。
 ⑤ 北アフリカの産油国で、沿岸部では地中海式農業がさかんである。
 ⑥ 首都はダルエスサラームで、キリマンジャロ山の南側にあたる。



[解答欄]

①ナイジェリア	②ケニア	③南アフリカ共和国
④エジプト	⑤アルジェリア	⑥タンザニア

[解説]



南アフリカ共和国は、かつて、アパルトヘイトという人種隔離政策がとられていた。金やダイヤモンドの産出が多い。アフリカ最大の工業国である。

エジプトでは、ナイル川下流域で古代エジプト文明が栄えた。イスラム教徒が多い。

ギニア湾に面しており、チョコレートの原料になるカカオの生産が多いのは、コートジボワール(世界 1 位)と、ガーナ(世界 3 位)である。ガーナは金の輸出量も多い。

ナイジェリアとアルジェリアは石油産出国である。ナイジェリアはギニア湾に面しており、人口はアフリカで最大である。カカオやヤムいもの生産も多い。アルジェリアは地中海に面しており、沿岸部では地中海式農業がさかんである。

[問題 6]

アフリカ諸国は現在も大きな困難をかかえている。次の①、②それぞれについて[]内の言葉を使って、アフリカ諸国の困難な状況を説明せよ。

- ① [スラム 都市部]
 ② [乳児死亡率 エイズ]

[解答欄]

- ①都市部への人口集中がすすみ、スラムとよばれる劣悪な居住環境が広がっている。
 ②栄養状態が悪いため乳児死亡率が高く、エイズ感染者も多いため平均寿命が短い。

[解説]

[アフリカの課題]

都市部への人口集中→スラム

乳児死亡率が高い、エイズ感染率が高い

アフリカでも、都市部への人口集中がすすみ、上下水道などのインフラの整備が追いついていない。都市への移住者の多くは、賃金の安い単純労働の仕事をしており、スラムとよばれる劣悪な居住地区に住んでいる。また、人口増加によって食糧が不足して栄養状態が悪いため、病気に対する抵抗力が弱い。乳児死亡率が高く、エイズ感染者も多いため平均寿命が短い。

[問題 7]

次の文の①～③に適語を入れよ。

アフリカの課題を解決するためには生活環境の向上が欠かせない。そのために道路や水道などの(①)とよばれる社会設備を整備しようとしている。ただ、貧しい国が多いアフリカでは国がそれを成し遂げるのが難しく、先進国の援助や(②)とよばれるもうけや利益を目的としない組織からの援助も行われている。また、アフリカ諸国の連帯を求めて(③)という組織が 2002 年に設立された。

[解答欄]

- ①インフラ ②NGO ③AU(アフリカ連合)

[解説]

[諸問題解決への取り組み]

2002年、アフリカ連合(AU)を結成
 先進工業国の援助、NGOの援助

アフリカ諸国は、共同で諸問題の解決に取り組むため、2002 年にアフリカ連合(AU)を結成した。また、先進工業国は食料援助やさまざまな開発援助を行っている。もうけや利益を目的としない NGO(非政府組織)からの援助も行われている。